

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和4年12月号）

令和4年12月1日

11月11日（金）、駅南口電停脇「みんなの庭」の夏花を除去、耕作・施肥を行いました。翌12日（土）、天候の加減で予定（日曜）を1日繰り上げて、冬～春花200株（パンジー、ビオラ、ノースポール、ナデシコ＝高知市花いっぱい会ご提供）を植え付けました。ほかに、お持ち寄り頂いた葉牡丹も（写真）。作業にご参加くださった皆様、有難うございました。

12月の活動日は11日（日）09:00～10:30です。お越しをお待ちしています。

1月は15日（日）の予定です。

.....

〇トピックス：

11月14日（月）、高知市みどり課を訪問しました。

- 植え替え完了のご報告かたがた花苗支給のお礼を言上しました。
- 来年2月ごろ高知駅前に牧野富太郎博士ゆかりの仙台屋桜を植えようという提言は、前向きにご検討くださっているそうでした。



南口3志士像前のイロハモミジ
（平成25年植樹）



秋の花と言えば菊ですね



ボランティア寄贈の葉牡丹

.....

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥

幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://mori-kochi-ekijimdo.com/>（バックナンバー掲載）

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 ナカタマサシ 代表中田昌志」名義 普通 0709695

自然と人工 — 県立自然公園「天狗高原」の遊歩道工事をめぐって

前号・前々号に続き、日本人の特性「自然との共生」の現場を見てみたいと思います。

10月31日付の高知新聞掲載記事「ヒメユリ、オオナンバンギセル...天狗高原の希少植物消える 高知県が遊歩道工事、自生地一部埋め立て」を読まれたでしょうか？

高新記者の問いに対して、県立自然公園を担当する県自然共生課長は、「自然保護を求める声の一方、自然の利用促進（電動アシスト付きマウンテンバイクや車いすで散策できるように）を求める声もある」としつつも、「今後、自然公園を整備する際には、基準になくとも専門家を含めて調査するなど、なお慎重に配慮すべき点があるのかな、と感じている」と語ったとのことでした。

拡幅され、アスファルトで舗装された遊歩道（高知新聞）。人工の見本



遊歩道や舗道の整備は、「利便性」あるいは「ユニバーサルデザイン」を求める声に応じて各地で行われていますが、自然環境への向き合い方は色々のようです。



上は明治神宮参道の舗道。「…砂利敷き参道の景観を考慮、様々なシミュレーションを行って、神話にも出てくる『さなげ石』の平板を敷き詰めた…」と、施工会社は説明しています（太平洋プレコン工業HP）。ただ、「まだ目立ちすぎ」、「そもそも必要か？」という声もあります。



桂浜のコンクリート遊歩道。
アート？ 浜の主役みたい。



尾瀬、ミズバショウ群生地の
木道（朝日新聞群馬版）



自然のまま、人工物が見えぬ鳥
取砂丘（「お知らせ」10月号参照）

ちなみに、もう高層ビルの時代は終わったとして、「負ける建築」（出しゃばらない建築）を実践する隈研吾氏設計の「明治神宮ミュージアム」を見てみましょう。高さを周りの樹々より低く抑え、和風の建物を神宮の森に溶け込ませています（参道から撮影、隈研吾建築都市設計事務所HPより）。→

